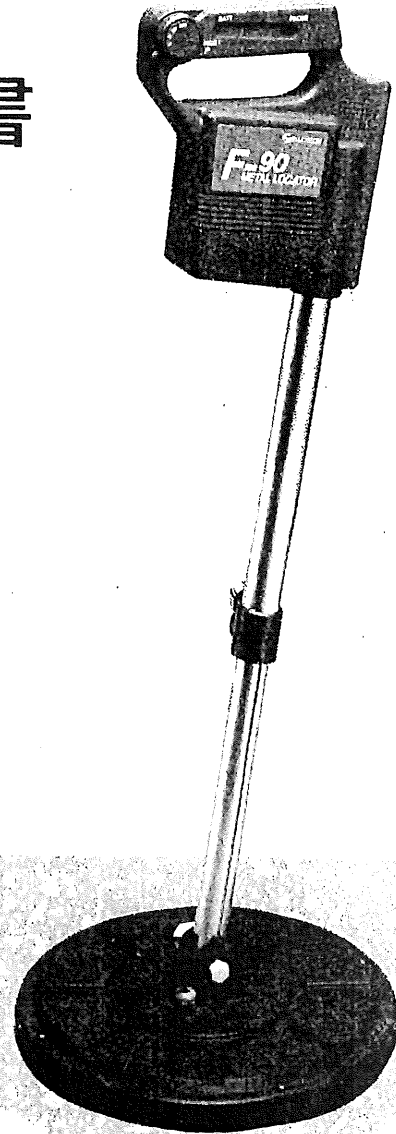


ボックスロケータ

金属探知器 F-90

取扱説明書



管路システムのサポートメーカー

フジテコム株式会社

お買いあげいただきましてありがとうございました。

ご使用に際し「取扱説明書」をお読みいただき、末永く
ご愛用いただきますようお願いいたします。

目 次

1. 概 要	2
2. 原 理	2
3. 各部の名称(分解図)	3
4. 各部の名称と機能	5
5. 操作・取扱い方法	6
6. 探知方法	8
7. フジ全国サービスネット	10

1. 概要

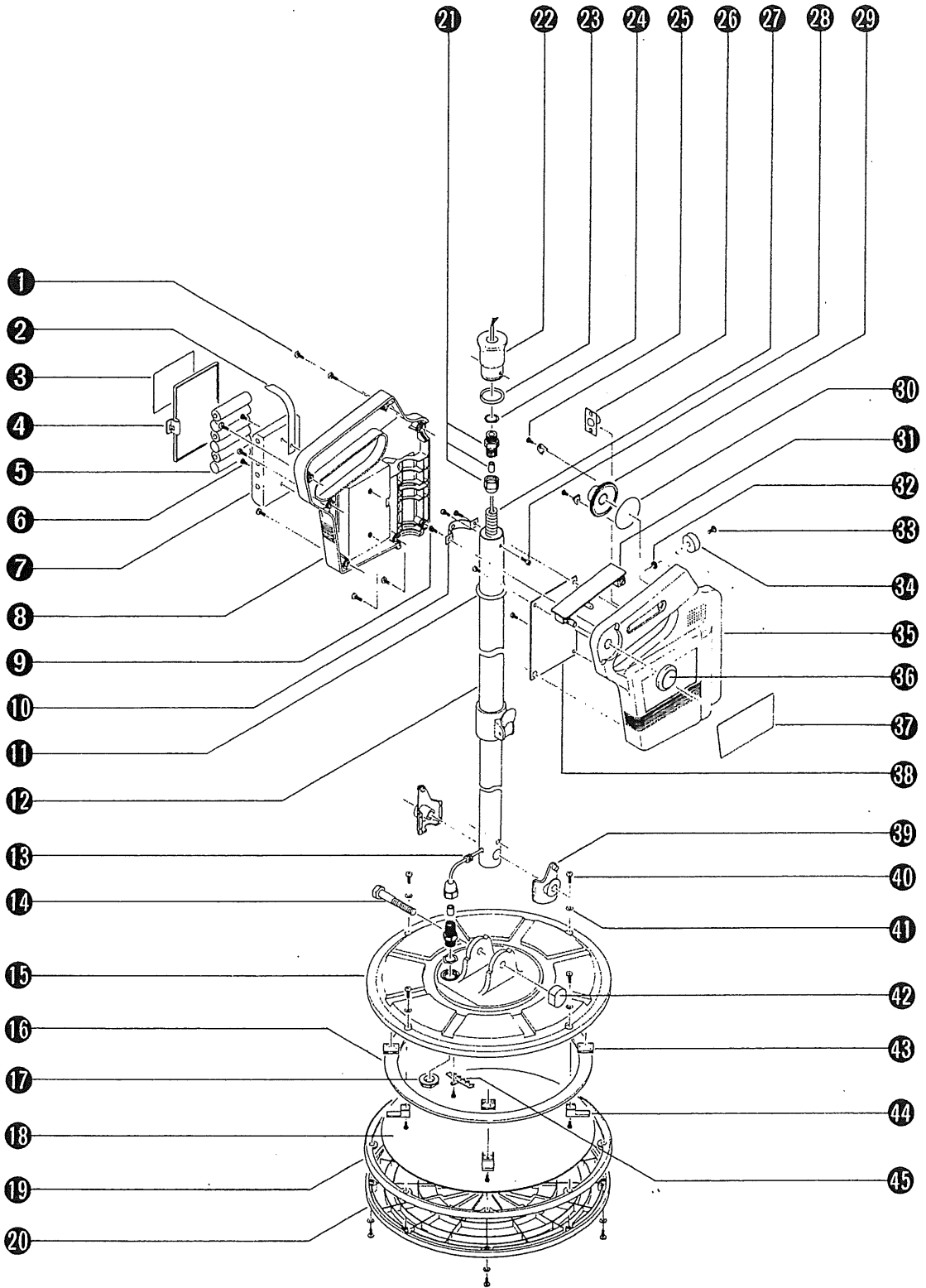
本器は、地中等に埋没している金属物の位置を交流磁界を利用して探知する機器です。

2. 原理

ループコイルに交流電流が流れると、コイルの周囲に磁力線が発生します。そしてこの磁力線は、金属体内で過電流を生じさせます。

本器は、この変化量をキャンベルブリッジ回路で検出し、増幅回路と音声出力回路を通して、金属物の位置を探知するものです。

3. 各部の名称(分解図)



- ① ⊕ バインドタッピング
- ② 電池リボン
- ③ 注意銘板
- ④ バッテリー蓋
- ⑤ 乾電池
- ⑥ ⊕ ナベタッピング
- ⑦ バッテリーケース
- ⑧ ケース・右
- ⑨ ⊕ ナベタッピング
- ⑩ パイプ固定金具
- ⑪ Oリング
- ⑫ アジャストパイプ
- ⑬ グロメット
- ⑭ 六角ボルト
- ⑮ 円板・上
- ⑯ アンテナコイル
- ⑰ スキントップ固定ナット
- ⑱ シールド板
- ⑲ 防水リング
- ⑳ 円板・下
- ㉑ スキントップ
- ㉒ パイプ防水キャップ
- ㉓ Oリング
- ㉔ 防水パッキン
- ㉕ スピーカー止め金具
- ㉖ 玉締め
- ㉗ カールコード
- ㉘ 六角穴付ボルト
- ㉙ スピーカー
- ㉚ スピーカーネット
- ㉛ スイッチプレート
- ㉜ ナット
- ㉝ ⊕ バインド
- ㉞ ゴム足
- ㉟ ケース・左
- ㊱ セットノブ
- ㊲ ケース左・銘板
- ㊳ メイン
- ㊴ スライドパイプ
- ㊵ ⊕ バインドタッピング
- ㊶ ポリワッシャー
- ㊷ 丸ナット
- ㊸ コイルクッション
- ㊹ コイル止め
- ㊺ ラグ端子

4. 各部の名称と機能



5. 操作・取扱い方法

●探知前の準備

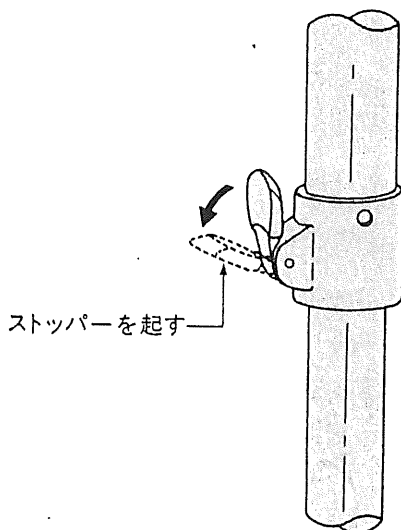
1. 機器のセット方法

[1]アジャストパイプの調整

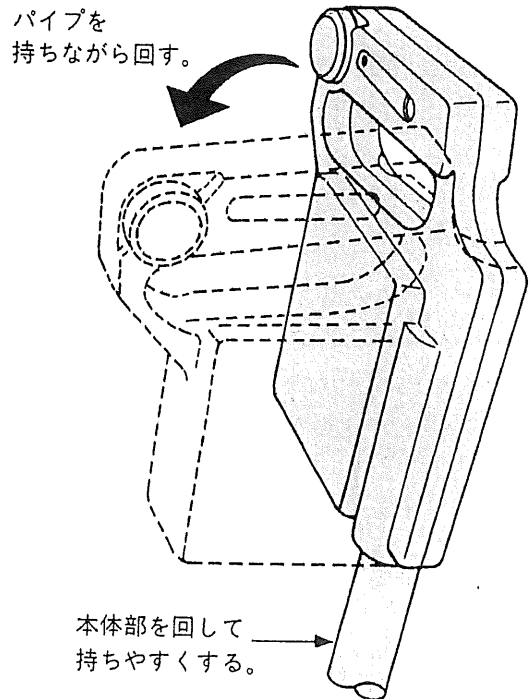
- ・収納されている機器をケースから取り出します。
- ↓
- ・取り出した機器は、コンパクトになっていますので図-1のようにストッパーを起し、パイプを引き伸ばします。

[2]本体部のセット

- ↓
- ・アジャストパイプを伸ばした後、本体部を起します。
- ↓
- ・本体部は、図-2のようにパイプを持ちながら反時計方向に止まるまで回します。
- ↓
- ・次に左右に回しながら、本体部の位置を決め、アジャストパイプの長さなど、持ちやすく、また探知しやすいように全体の機器のバランスをとってください。



(図-1)



(図-2)

2. 電池電圧の確認方法

〔1〕電源のオン

電源・感度・セットノブを右に回します。

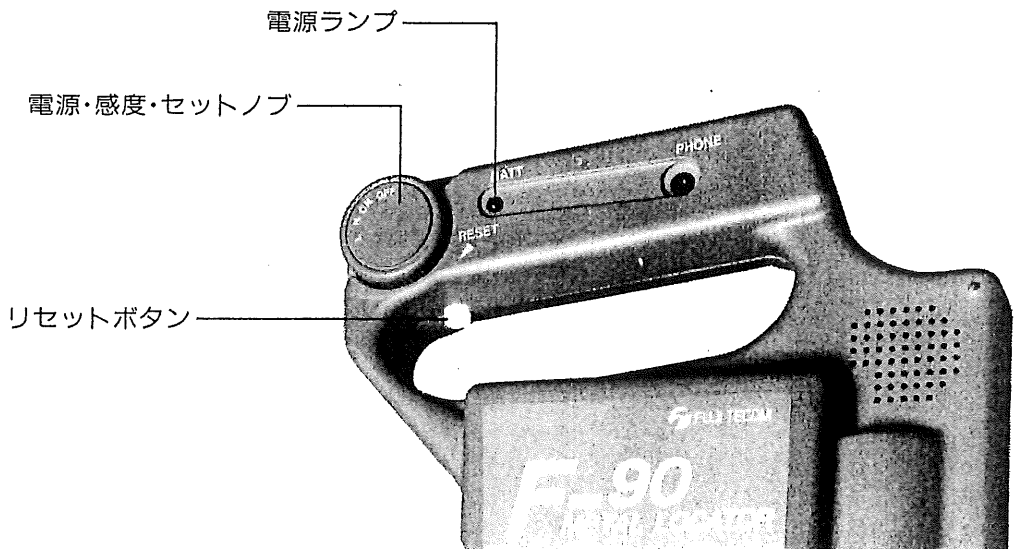
〔2〕電池の確認

電源ランプが一瞬強く点灯後、弱い点灯状態となります。

なお、ランプが点灯しない場合には、電池の容量が全くありません。

〔3〕電池電圧の低下の確認

電源がオンされている状態で、電源ランプが点滅している時は電池を交換してください。(SUM-3×6本)



取扱い上の注意

〔1〕本器は、実用防水構造となっていますので、アンテナ部を水中で使用することができます。ただし、長時間の使用は避けてください。

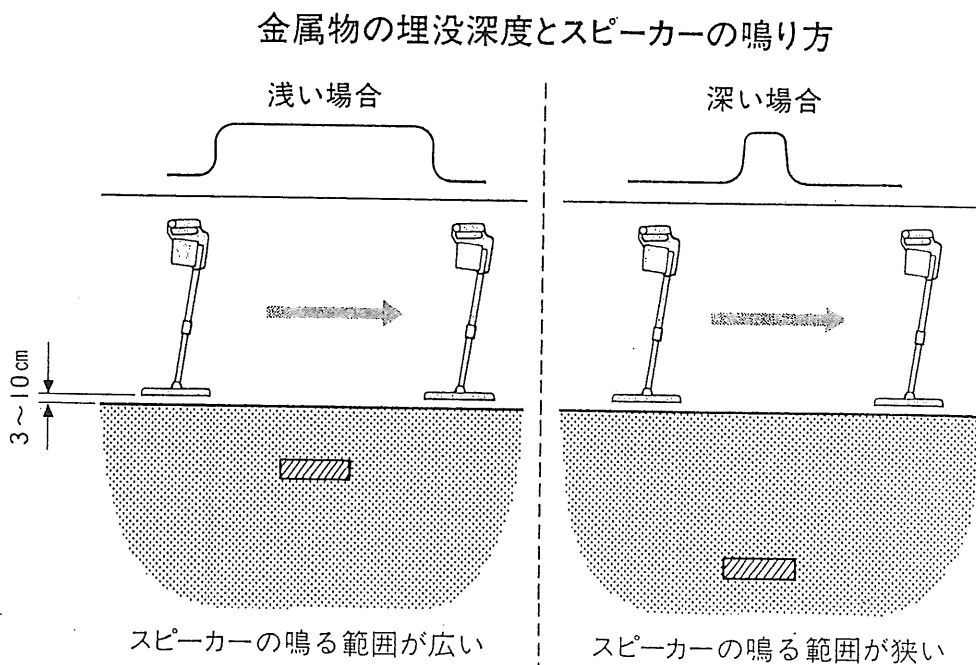
〔2〕アンテナに金属性のシール、ネームプレート等を付けないでください。

〔3〕本器を高温な場所に長時間放置、または置かないでください。

6. 探知方法

●探知手順

- [1] 本体取手部を握り、アンテナを地表から浮かして平行にします。
↓
- [2] 電源・感度・セットノブを回して“ON”にします。感度は通常の状態に調整されています。
↓
- [3] 感度を上げて使用する場合は“H”にします。感度を下げて使用する場合は“L”にします。
↓
- [4] 次にリセットボタンを押します。これで探知準備はOKです。
↓
- [5] 準備が完了しましたら、アンテナを地表面と平行に左右前後に移動します。
↓
- [6] アンテナが金属物に接近すると、スピーカーからの音量が大きくなります。
↓
- [7] スピーカー音の最も大きい地点が埋没金属物がある位置です。
なお、金属物の位置は音量の大小の変化で判断します。



探知上の注意

〔1〕アンテナの操作

アンテナは地表面との距離を一定に保ってください。

(アスファルト、コンクリート約3cm。土、芝生で約10cm)

また、アンテナが地表面と接近した状態で上下させますと誤った反応をします。

〔2〕感度の設定

通常の探知では、電源・感度・セットノブを“ON”の位置に設定してください。

高感度探知の場合は“H”にしてください。ただし、目的以外の金属に敏感に反応しますので十分に留意してください。なお、目的物が30cm以上の大きさが予測される場合は“H”に設定、10cm以下は“L”に設定した方がよいです。

〔3〕リセットスイッチの使い方

リセットスイッチは、探知環境や探知条件が変わる都度に押してください。ただし、金属物のそばや、上では押さないでください。押しますと探知感度が著しく低下します。

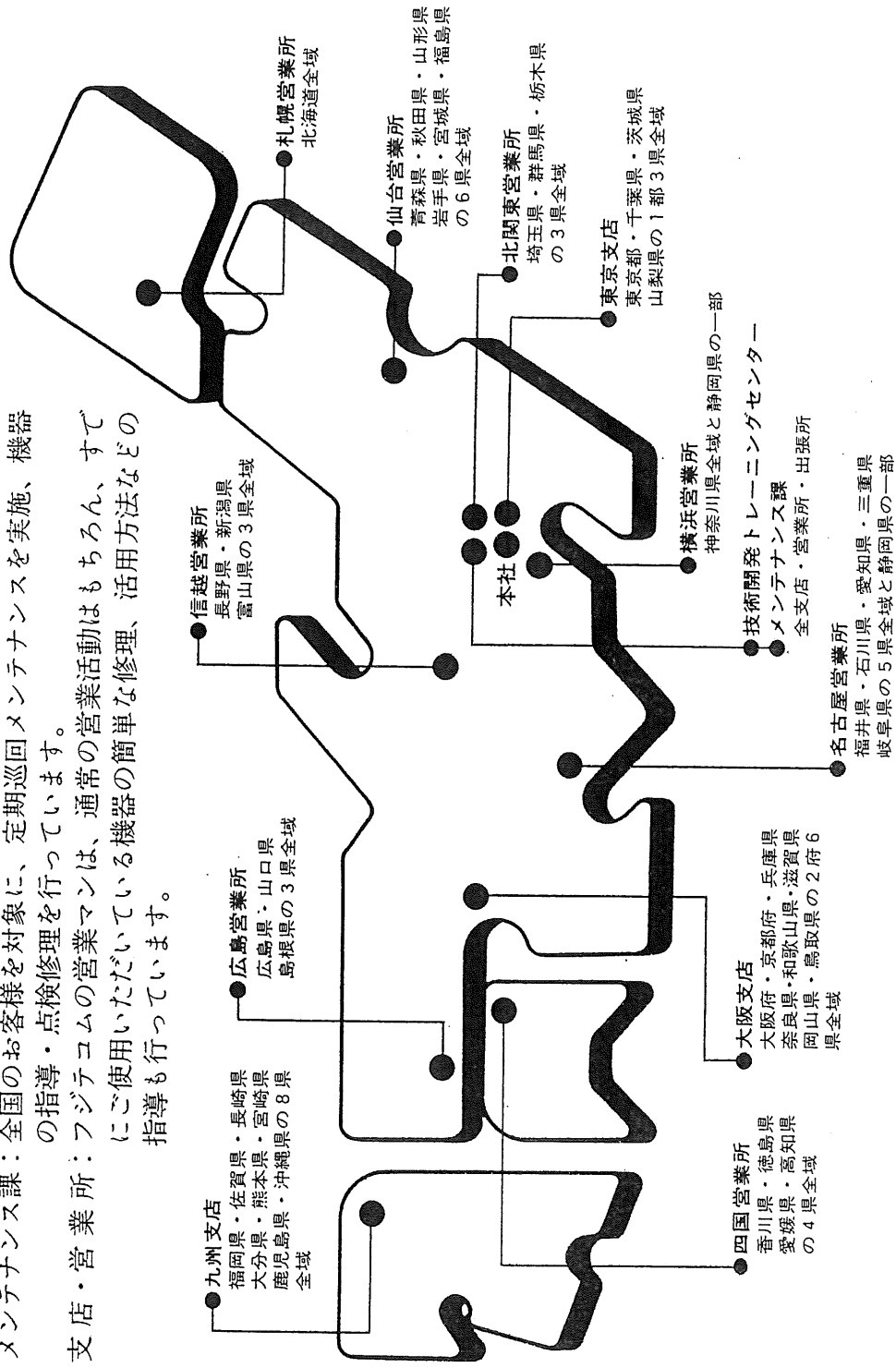
〔4〕探知に影響する条件

金属物体の形状や地表面に対して面積が大きいほど探知が容易です。また、アルミ材よりも鉄材、湿った土質より乾燥した土質の方が探知が容易です。

7. フジ全国サービスネットワーク

メンテナンス課：全国のお客様を対象に、定期巡回メンテナンスを実施、機器の指導・点検修理を行っています。

支店・営業所：フジテコムの営業マンは、通常の営業活動はもちろん、すでにご使用いただいている機器の簡単な修理、活用方法などの指導も行っています。



管路システムのサポートメーカー



フジテコム株式会社

本社 〒101 東京都千代田区神田和泉町1番地11号 TEL(03)3862-3196/FAX(03)3866-1979

札幌 〒003 札幌市白石区平和通10丁目北7-37 TEL(011)864-9511/FAX(011)864-9507
仙台 〒980 仙台市青葉区本町1-12-12(山万ビル) TEL(022)222-8402/FAX(022)261-2497
北関東 〒330 大宮市東大宮4-25-9(コスモビル) TEL(048)654-1896/FAX(048)654-1897
東京 〒170 東京都豊島区北大塚3-33-12(関戸ビル) TEL(03)5567-2561/FAX(03)5567-2564
横浜 〒226 横浜市緑区三保町2069-1(セトル中山ビル) TEL(045)931-9533/FAX(045)931-7726
信越 〒380 長野市柳町2056(柳町ビル) TEL(0262)32-3521/FAX(0262)32-2197
名古屋 〒461 名古屋市中区葵3-23-7(千種ファーストビルN) TEL(052)933-4891/FAX(052)933-4894
大阪 〒530 大阪市北区西天満3-13-18(島根ビル) TEL(06)362-6755/FAX(06)362-6759
広島 〒732 広島市東区光が丘11-12(久保田ビル) TEL(082)261-0939/FAX(082)261-0948
四国 〒761-01 高松市春日町字片田1594-1 TEL(0878)44-3921/FAX(0878)44-3922
九州 〒812 福岡市博多区堅粕4-1-12(嶋井ビル) TEL(092)474-3225/FAX(092)474-3894
技術開発・トレーニングセンター 〒352 埼玉県新座市野火止8-6-16 TEL(0484)79-0581/FAX(0484)79-0584
テレホン技術サービス TEL(0484)79-0582
